

SGEC 分別・表示事業体審査報告書

有限会社 石井興産

平成 2 1 年 1 2 月

(社)全国林業改良普及協会

目 次

I. 有限会社 石井興産の概要

II. 審査経過・写真

III. 有限会社 石井興産の審査における判定事由書

IV. 添付資料（主な確認資料）

V. 審査判定表

I 有限会社 石井興産の概要

1. 申請者名称・所在地 有限会社 石井興産 代表取締役 石井弘康
長崎県対馬市美津島町洲藻 99-6
2. 認定事業体 有限会社 石井興産
3. 事業内容・業種 製材および木材加工業
／製材品・建築用木材加工品販売

(認定対象業種) 製材・木製品加工・販売
4. 沿革・概要

対馬は、九州の北方、玄界灘にある長崎県に属する島である。長崎県では最大の島であり、全国においても、本州・北海道・四国・九州の主要4島と北方領土を除けば、第6位である。対馬海峡には暖流の対馬海流が流れているため、その影響で比較的平年を通して暖かく、雨が多いという典型的な海洋性の気候で、恵まれた自然の対馬の森林率は89%、人工林率は34%である。人工林比率は、スギ40% ヒノキ55% マツ3%で、ヒノキ植栽面積の比率が高い。かつて対馬のヒノキは「対州檜」と呼ばれ、九州・四国から盛んに買い求められ、移出されていた。現在では、「対州檜」は、資源量が大変少なくなっているが、戦後植樹されたヒノキは枝打ち・間伐と良く保育施業された優良材が多く、現在では9齢級のものが増え、間伐材として収穫され始めている。

有限会社 石井興産は、昭和54年に創立された「石井林産製材加工場」が前身である。当時、間伐材の製材品を主として、北部九州地区に出荷していた。昭和62年2月に法人化し、現在の名称となり、対馬島内向けの出荷が中心となった。主伐・間伐を問わず、国産スギ・ヒノキ材のみを製材し、対馬島内の問屋・工務店・建設会社へ木材資材の供給を行っている。平成に入り、離島のハンディを補うべく、木材に付加価値を付けるため、ドイツ製モルダー、自然塗料塗装機等を導入し、関連機械を増設。近年、対馬ヒノキのPRを目的として、日曜木工品の製造販売を開始している。

また同社は、合法木材認定業者、長崎県県産木材認証事業体であり、SGEC森林認証を受けた対馬森林組合との取引を拡大し、持続可能な森林経営を通じて森林環境の保全と、循環型社会の形成への貢献を目標としている。

【沿革】

昭和54年1月 「石井林産製材加工場」創立

昭和62年2月 「有限会社 石井興産」設立

【概要】

- 本社工場 対馬市美津島町洲藻 9 9 - 6
 - ・工場敷地面積 1 1 , 5 5 0 m²
 - ・工場面積 3 0 0 m²
 - ・事務所 1 棟
 - ・保管庫 4 棟

- 出資金 4 8 0 万円

- 年間売上 6 , 1 0 0 万円

- 総従業員 8 名
 - ・木材加工用機械作業主任者
 - ・フォークリフト運転技能講習者
 - ・玉かけ技能講習修了者
 - ・小型移動式クレーン運転技能修了者
 - ・安全衛生推進者養成講習修了者

- 原木仕入先 対馬森林組合
佐伯林業
永川林業
小宮林業
他 素材生産者

- 製品出荷先 対馬島内建材店・工務店・一般ユーザー
北九州木材市場(福岡県)
長崎県・福岡県・熊本県工務店

- J A S 認定証 なし

- その他 合法材認証事業体
長崎県県産木材認証事業体

【木材・木製品の年間取扱実績】

(平成 20 年 7 月 1 日～平成 21 年 5 月 31 日)

原木入荷量 2, 5 0 0 m³

製品出荷量 1, 6 0 0 m³

(うち製品仕入量 0 m³)

※生産の主力は、天然乾燥材(A D材)

【主要設備】

自動送材車付き帯鋸盤(石田エンジニアリング社)、ツイン丸鋸盤(富士鋼業社)モルダー・プレーナ(ドイツ・ヴァイニッヒ社)、自然塗料用塗装機(丸沖鐵鋼所)、自動ローラ送り帯鋸盤(石田商事)、オガ粉製造機(アキタ製作所)等

動力総数 363 k w

5. 分別・表示管理体制の確立

有限会社 石井興産には、原木土場及び製材加工を行う加工場、製材品の・保管場所、在庫製品保管倉庫が設置され、原木及び製品は、用途別に分別管理されている。

認証林産物の取扱に関しては、「認証林産物の分別・表示管理方針書」を定めており、「S G E C 認証森林から産出された認証林産物とそれ以外の林産物が受入、保管、加工、出荷の各段階で混在しないよう、全体を統括する「認証林産物管理責任者」、分別・表示管理を担当する「分別表示責任者」、各工程の担当者を設置し管理体制を確立するとともに、伝票など帳票類を作成・保存し認証林産物の普及・P Rに努めることとしている。

なお、別に「認証林産物の生産・出荷管理計画書」及び「S G E C 分別・表示管理体制表」を定め、適正に認証材の分別・表示管理を実施するための体制を取っていることを確認した。

(主な確認資料)

- ・ 認証林産物分別・管理計画書
- ・ S G E C 認証林産物分別・表示管理体制図
- ・ S G E C 認証林産物分別・表示管理方針書
- ・ 施設・加工場配置図
- ・ 決算報告書
- ・ 原木実績／仕入実績表、仕入先別仕入実績表、在庫表、総合実績表
- ・ 請求書等伝票類、S G E C 認証材取扱台帳等帳票類

Ⅱ. 審査経過・確認資料一覧・写真

1. 有限会社 石井興産の審査経過

認定審査は、(社)全国林業改良普及協会認証審査センターの宇佐美均が下記のとおり行った。

【審査申込】

平成 21 年 1 0 月 2 6 日 / 審査申込

(内 容)

1. S G E C 分別・表示システム、及び全林協の審査手順についての説明
2. 審査申込書の受付
3. 確認資料の説明

【認定審査】

1 2 月 7 日 / 書類確認及び現地確認

(場 所)

有限会社石井興産・原木土場・製材加工ライン・製品保管倉庫

(審査員)

(社)全国林業改良普及協会

宇佐美均

(出席者)

有限会社 石井興産 代表取締役

石井弘康

(内 容)

1. 提出された書類及び資料の説明を受け、修正事項等の確認を行った。
2. 有限会社 石井興産において事業の概要、現行の仕入れ・加工・保管・販売における木材の流れ・管理の仕組み等について説明を受け、併せて関連資料の審査を行った。
3. 既存の加工ライン、製品等保管庫における原料、製品の分別状況を確認した。
4. 管理方針、認証林産物の生産・出荷管理計画、分別・表示管理体制等の遵守意志を確認した。

【審査判定】

12月11日／審査委員会（書類）

（場 所）

東京都港区赤坂 1-9-13 三会堂ビル会議室

（委員名）

元東京大学教授・農学博士	山根 明臣
元東京農業大学教授・農学博士	河原 輝彦
木構造振興株式会社専務取締役・農学博士	西村 勝美（書類確認）
東京農工大学教授・農学博士	土屋 俊幸（書類確認）
（社）日本育種協会理事	真柴 孝司

（事務局）

（社）全国林業改良普及協会専務理事	渡辺 政一
同 認証審査センター	児島 裕
同 認証審査センター	野田 昭一
同 認証審査センター	宇佐美 均

（内 容）

1. 現地確認審査の結果及び SGEC の定める「認定審査」基準事項に基づき設定した「審査要件」について審査内容を説明した。
2. 提出資料、実行体制及び入荷・出荷管理の仕組み等から、申請者は認定に値する事業体であるものと認められた。

Ⅲ. 有限会社 石井興産の審査における判定事由書

SGEC の定める「認定審査」基準事項に基づき、「有限会社 石井興産審査判定表（分別・表示）」の 12 項目を審査要件として決定した。

これら「審査要件」に基づいて、「認定審査」を行い、審査委員会に諮ったところ、有限会社 石井興産は、認定に値する事業体であるとして判定された。

なお、審査委員会により、認定取得後の「向上目標」として下記が付記された。

【向上目標】

1. 関係職員に対し、十分な教育・研修を図り、分別・表示管理方針書等の趣旨を徹底すること。（基準 3－5）
2. 認証林産物の履歴証明に関わる帳票類の保存に努めること。（基準 3－6）